

NIT

NISSEKI TOKYO

2015
Spring

Vol.5

特集

赤十字を支えて55年
東京都日赤紺綬有功会

2015
Spring

Contents

- 04-05 日本赤十字社東京都支部
平成27年度事業計画・事業予算
- 06-08 れっどくろす News & Topics
- 09-14 **特集**
赤十字を支えて55年
東京都日赤紺綬有功会
- 15-18 東京都内の赤十字施設紹介
武蔵野赤十字病院
大森赤十字病院
葛飾赤十字産院
東京都赤十字血液センター
- 20 活動資金協力者（社）・団体のご紹介
- 21 東京都支部からのお知らせ
- 22-23 -Cross Town- 都内日赤ゆかりの地

本号の表紙写真

隅田川の桜と東京スカイツリー
(墨田公園：台東区)



2014.3 撮影

◎あなたの写真でNTの表紙を飾ってみませんか？
ご応募お待ちしております。詳しい応募方法はp19
をご覧ください。



日本赤十字社の使命
わたしたちは、
苦しんでいる人を救いたいという思いを結集し、
いかなる状況下でも、
人間のいのちと健康、尊厳を守ります。

平成26年9月、東京都日赤紺綬有功会が「赤十字海外視察の旅」で訪れたスイスのICRC（赤十字国際委員会）本部
◎紺綬有功会については今号の特集（p9～p14）をご覧ください。

「都民を守り、支える 赤十字を目指して」

日本赤十字社
東京都支部
平成 27 年度

事業計画 事業予算

活発なボランティア活動のために

210,024,000 円

- ボランティア対象の減災セミナーや研修を開催します。
- 既存の枠を超えたボランティア同士の交流の機会を増やします。
- ユースボランティア^(※)が同世代に対して、H I V／エイズ啓発活動をできる環境を整備します。
- 海外赤十字ユースボランティアとの交流の機会を通じて、ボランティアの成長に寄与します。

※:ユースボランティアとは
赤十字ボランティアのカタゴリーで、30 歳未満のボランティアをそう呼びます。
日本においては学生奉仕団、青年奉仕団があたります。



韓国・中国ユースとの交流（三首都支部交流事業）

67,633,000 円

命を守る知識と技術を伝えるために

- 講習の一部をピックアップした短期講習を積極的に実施します。
- 都内すべての地域で講習を開催します。
- 生活協同組合や全国保育園保健師看護師連絡会と連携して、子育て世代を応援します。
- インターネットでも視聴可能な教材を充実させ、さらに気軽に知識と技術を得られる環境を整えます。



その他の活動

皆さまのご寄付を有効に活用するために・・・ 321,366,000 円

- 職員一人ひとりの能力を伸ばし、事業の発展につなげます。

赤十字の協力者を増やすために・・・ 161,583,000 円

- ご協力者とのコミュニケーションを深め、支援の輪を広げます。

献血、福祉施設等のために・・・ 98,972,000 円

- 都内施設の円滑な運営に努めます。

赤十字の活動を知ってもらうために・・・ 60,828,000 円

- 地域に密着した広報活動を展開します。



5 月の赤十字月間には都内各地で寄付を募ります



インターネットやイベントなどを通じて、赤十字活動をもっと知っていただきます

日本赤十字社東京都支部では、「苦しんでいる人を救う」という赤十字の使命を達成するために、中期重点事業計画を策定しており、「大規模災害（大地震）に備える」「都民にとっての身近な赤十字へ」「赤十字を支える体制の充実強化」を 3 本の柱とする事業を展開しています。

平成 27 年度は事業予算として 14 億 5 千万円を計上しました。実施する主な事業を紹介します。



災害に備えるために 529,594,000 円

- 効果的な救護活動を実施するため、赤十字および防災関連機関との連携強化に努めます。
- 都内企業との連携により、発災時の対応強化に努めます。
- 様々な局面に対応できる職員やボランティアを育成します。

- 自助、共助の重要性を減災セミナーを通じてお伝えします。
- 災害発生時でも円滑な活動が継続できる体制を整えます。
- 都内各地域に災害時に活用できる救援資機材を整備します。

皆さまの変わらぬご支援を
よろしくお願いいたします

災害救護フォローアップ訓練 医療救護活動を支える職員を養成

日本赤十字社の活動の中で、災害救護活動は非常に重要であり、全ての職員が救護員として活動することが求められています。どのような環境においても臨機応変に対応するためには基礎が重要。救護員としての土台を構築するためには反復して訓練する必要があります。

災害救護フォローアップ訓練(2月9、10日)



「海外たすけあい」キャンペーン 今度は私たちができることを

東日本大震災の時は、海外から約 1,000 億円を超える寄付がありました。一方で、世界には紛争や災害、飢餓や病気などで苦しんでいる人が数多くいます。昨年の「海外たすけあい」で全国から寄せられた寄付金は605,075,037円(東京都は54,192,426円)。紛争で苦しむシリアやアフガニスタン、地震や洪水など被害が絶えないアジア・大洋州地域、エボラ出血熱などで苦しむアフリカ諸国などの支援に活用します。



は、基礎訓練で培った知識と技術を「身体が覚えている」レベルにまで達することを目的に実施しているのです。

■災害時のこころのケア

災害は人々の生命と財産に多くの被害を与えるだけでなく、ここにも大きな傷を残します。講師を務めた大森赤十字病院の村木看護師長（東日本大震災でこころのケア要員として活動）は「問題が解決できなくても、被災者の苦痛を少しでも和らげ、リラックスできるように支えることが大事」と、自身の体験を交えながら語りました。被災地に派遣されたことのない職員も多く、真剣な面もちで耳を傾けていました。

■自己完結型の仮設診療所

救護員は、災害の種類や規模に合わせて必要な資機材を準備し、迅速に被災地で救護

活動を展開します。「仮設診療所の立ち上げ訓練は基礎訓練でも実施したが、これを身体に覚えこませるには、今後も繰り返し訓練しなければ」と参加した職員は反復の大切さを感じていました。東京都支部は、今後も災害時に活動できる救護員の養成を継続して行います。



デビューした新任指導員は先輩指導員の下、今後の赤十字の講習事業を支えてくれることでしょう。

■指導員も日々の研鑽を怠らない

講習の内容は毎年改訂されているため、指導員も毎年研修を受けています。仕事終わりに参加した方は「講習をやるからには受講者に間違った技術は教えられない」と講習にかける思いを語ってくれました。



被災地派遣要員宿泊訓練 関東甲越支部が合同で先遣隊を養成

災害発生直後から医療救護活動を展開する赤十字。当然ライフラインが途絶した環境下での活動が求められるため、初動対応として先遣隊を派遣します。先遣隊には被災地の状況を正確に把握し、衣食住を確保するなど重要な役割があります。1月28～30日の3日間、群馬県の赤城山のふもとで実施された訓練は、大規模噴火災害により多数の傷病者が発生、被災地の詳しい状況がわからないことから、情報収集及び活動拠点設置のため関東甲越の支部から先遣隊を被災地に派遣したという想定

で実施しました。

初日は晴天に恵まれましたが、気温は常に0度を下回り、さらに最終日には雪が降るなど厳しい環境での訓練となりました。しかし、災害はいつ発生するかわかりません。劣悪な環境下でも医療救護班が普段通り活動するためには、先遣隊の初動対応が重要なのです。日赤は、これから起こりうる災害に備えて、様々な状況を想定した訓練を行ってまいります。

(表) 被災地派遣要員宿泊訓練 行程表

1 日 目	オリエンテーション 車両走行訓練・無線通信訓練 現地対策本部設置 宿泊テント設営・炊出し 夜間研修
2 日 目	現地対策本部運営訓練（通信訓練） 現地対策本部運営訓練（資機材運用訓練） 炊出し 夜間研修
3 日 目	資機材撤収・格納 車両走行訓練・無線通信訓練

5月は赤十字運動月間です

活動資金へのご協力をお願いします

赤十字
7原則制定
50周年

わたしたちは、世界中の赤十字が共有する
7つの原則にしたがって行動します。

人道

公平

中立

独立

奉仕

単一

世界性

赤 十字の活動は、皆さまからご協力いただく活動資金により支えられています。

日本赤十字社は5月を赤十字運動月間とし、社会へ向けて赤十字思想の普及や活動紹介に努めると共に、活動資金のご協力をお願いしております。これからもいのちを救う活動を続けるために、活動資金へのご協力をお願いいたします。

赤十字へのご寄付には税制上の優遇措置や表彰を受けられる制度があります。詳しくはホームページ (<http://www.tokyo.jrc.or.jp/>) をご覧ください。



地域の掲示板等にポスターを掲示して赤十字運動月間のPRをしています。



日本の、そして世界の苦しんでいる人々を救うために赤十字は活動しています。
私たちは、世界中の人たちの希望ある未来を、皆さまと一緒に創っていきたくと願っています。

都内で実施する運動月間のイベント

『運動月間 駅頭キャンペーン』

【開催日】5月

【開催場所】都内各地

赤十字ボランティアを中心にして、各地の駅頭で赤十字活動のPRや活動資金の募集を行います。

『表参道ジャック』

【開催日】5月1～14日

【開催場所】渋谷区表参道周辺

開催期間中、表参道が赤十字色に染まります。体験型のイベントを通して楽しみながら減災の知識を学びませんか？

『病産院 赤十字デーイベント』

【開催日（場所）】5月16日（武蔵野）

23日（大森・葛飾）

都内赤十字病産院で、バザーや健康相談に加えて応急手当体験など、赤十字ならではのイベントを通して、自助・共助の必要性をお伝えします。

2015年4～6月

その他の

赤十字イベント

多摩

『日本赤十字社 × JAF 「世界交通安全週間 スペシャルイベント」ハローキティと学ぶ交通安全と応急手当』

【開催日】5月9日

【開催場所】サンリオピューロランド

子どもが関心を持つキャラクターを通じて交通安全の大切さや子どもに対する手当の方法をお伝えします。



ハトラちゃん

エコもんくん

キティちゃん

© 76, 15 SANRIO
APPROVAL No. P0603175

赤十字を支えて55年 東京都日赤紺綬有功会



東京都日赤紺綬会発会式（昭和35年）於：椿山荘

東

京都日赤紺綬有功会とは、昭和35年5月11日、椿山荘（文京区）において名誉副総裁三笠宮妃殿下をお迎えした発会式により正式に発足した団体です。

この会には「赤十字活動をおし、会員の総合力をもって人類福祉の増進に寄与すると共に会員相互の親睦を図ること」を目的に、国の紺綬褒章、日赤の金色・銀色有功章を受けた個人412人、法人133社（平成26年9月時点）の会員が参加しています。

発会式において妃殿下より賜った、「国民の支援と協力がなくては赤十字の使命は達成できません。皆さまが赤十字の発展に協力することを宣言されたことは、私の深く喜びとするところであります。赤十字が、真に国民の赤十字として、国民の期待に沿うことができますよう、皆さまの一層のご協力を心から希望してやみません。」とのお言葉のとおり、赤十字活動への熱い思いを持った方が集い、そしてその思いは今も変わることなく続いています。

日本赤十字社東京都支部とともに・・・

東京都日赤紺綬有功会のあゆみ

明治10年

西南戦争の折に、佐野常民が征討総督有栖川宮熾仁親王へ「敵味方の差別なく救護する」団体、『博愛社』の設立を願い出、英断をもって許可される。

20年

日本がジュネーブ条約に加入したことに伴い、博愛社を「日本赤十字社」と改称
東京都支部創設

21年

磐梯山（福島県）噴火で、日赤初の災害救護活動

38年

日比谷騒乱事件で東京都支部が臨時救護所を開設

44年

大正6年

東京水害被災者救護所（大正6年）

昭和11年

第二次世界大戦勃発に伴い、戦時救護活動を開始
第二次世界大戦
南海地震 戦後の災害救護班派遣の第1号

21年

24年

33年

35年

東京都日赤紺綬会結成（前ページ写真参照）

37年

42年

日赤篤志会を結成

昭和45年

10周年記念総会を上野精養軒にて開催
日本赤十字社創立100周年
組織を5ブロックに分ける（特別区内…4、市部…1）
名称を「東京都日赤紺綬有功会」に変更
※現在は7ブロック

52年

56年

57年

58年

60年

61年

62年

東京都支部創設100周年
会報誌「紺綬」創刊

63年

平成3年

東京都支部社屋移転（有楽町から現在地）
支部新社屋に「母と子の像」寄贈（左）

5年

7年

12年

13年

日赤篤志会と合併

16年

23年

平成27年

東京都日赤紺綬有功会 結成55周年



- 東京都支部が救護班を派遣した主な災害
- 東京市大火（吉原大火）
- 深川津波
- 東京市水害
- 関東大震災
- 2・26事件
- キティ台風水害
- 狩野川台風水害
- 三宅島噴火
- 三宅島噴火
- 日航機墜落事故（羽田沖）
- 日航機墜落事故（群馬県）
- 三原山大噴火
- 雲仙・普賢岳噴火
- 北海道南西沖地震
- 阪神淡路大震災
- 地下鉄サリン事件
- 三宅島噴火
- 新潟県中越地震
- 東日本大震災

日本の褒章制度

明治14年 「褒章条例」（太政官布告第63号）公布により、
紅綬褒章（上）、緑綬褒章（中）、藍綬褒章（下）
が制定される



大正7年 紺綬褒章が制定される



昭和30年 黄綬褒章（上）、紫綬褒章（下）が制定される



授与対象	紅綬褒章	緑綬褒章	藍綬褒章	紺綬褒章	黄綬褒章	紫綬褒章
授与対象	自己の危難を顧みず人命の救助に尽力した方	長年にわたり社会に奉仕する活動（ボランティア活動）に従事し、顕著な実績を挙げた方	・会社経営、各種団体での活動等を通じて、産業の振興、社会福祉の増進等に優れた業績を挙げた方 ・国や地方公共団体から依頼されて行われる公共の事務（保護司、民生・児童委員、調停委員等の事務）に尽力した方	公益のため私財を寄附した方	農業、商業、工業等の業務に精励し、他の模範となるような技術や実績を有する方	科学技術分野における発明・発見や、学術及びスポーツ・芸術文化分野における優れた業績を挙げた方

※ 下段の褒章に関する情報・写真は内閣府ホームページより引用

スペシャルインタビュー

東京都日赤紺綬有功会 6代目会長 鴨下 尚子

東京都日赤紺綬有功会（以下「有功会」）が今年55周年ということで鴨下会長にお話を伺いました。

有功会は今年で55周年になりますね。私が調布の奉仕団に参加したのが昭和38年ですから、その前からあった会なんです。

当時の調布市奉仕団の団長は本当に厳しい人で、私はよく「赤十字（の原則）が服を着て歩いてるみたいね」なんて団長に向かって言っては叱られていました（笑）。



でもその方のように赤十字への熱い気持ちの前に出ていらっしゃる方が多かったですね。そんな時代ですから、発起人の方々はさぞ熱い気持ちをお持ちだったと思います。

●会長が有功会に入会されたのはいつ頃ですか

昭和56年12月に紺綬褒章を受けましたので、その翌年からです。

当時の会長だった西木さんにはいろいろ教わりました。ある時ですが、当時「指導講師」というものがあって、それをしなさい、と。ずっとお断りしていたのにとうとう捕まってしまった（笑）。『赤十字とは何ぞや』を一から叩き込まれましたよ。もちろん、指導講師ですから他の奉仕団の方々にそれを指導するのですが、最初は頭が真っ白になってしまいましたね。そんな時にお尻をポンと叩いて励ましてくださったのも西木さんでした。周りの方は怖い、怖い、と言っていたようですが、私はそうは思いませんでした。

●有功会の仲間を増やす活動を続けられていますね

例えば私は奉仕団出身ですけれども、100人いれば100通りの理由や思いで赤十字に関わっていらつしやるんですよ。

でも、どんな理由や思いがあつたとしても、1人きりで参加するのは気おくれしてしまいますよね。それに、赤十字の歴史を巡るツアーとかお勉強会とか、大切なのはわかりますが、あえて1人では行かないと思いませんか？（笑）

そんなことで活動に参加しないのはもったいないじゃないですか。ですから、有功会の仲間になっていただいて、一緒に活動できたらいいなっと思うんです。



東北応援旅行の一幕
盛岡城址公園前にて

●最後に一言お願いします

私が常々大切だと思っていることは、5つの『き』です。

活動が続けられる「元氣」と続けようと思う「やる気」、一歩を踏み出す「勇氣」、あきらめない「根氣」を持って、でも一生懸命やるばかりでは疲れてしまうので、楽しんで「のんき」にやる。そして、それを仲間と実践することが何よりも大事だと思っています。

奉仕団活動には地域の仲間がいるように、奉仕団などに属していない方にとつての仲間がこの有功会だと思っています。

苦しんでいる人を救いたいという思いは皆さんお持ちだと思えます。その思いを実現するための活動をしている赤十字を支援する有功会の会長として、仲間になってくださる人が増えるように、微力ですがこれからも努めて参ります。



新年会のビンゴで当たった景品に喜ぶ鴨下会長

東京都日赤紺綬有功会の一年

(平成26年度の例)



①

会員中 60 余名の出席により
年一度の総会開催



②

ICRC 本部の前で
記念撮影



③

午餐会にて妃殿下のお成り
を待つ緊張の時間



④

寒桜が見ごろだった
上野公園



4
~
6
月

日赤紺綬有功会役員会 (第1回)

①

日赤紺綬有功会総会

7
~
9
月

②

海外視察の旅

日赤紺綬有功会役員会 (第2回)

10
~
12
月

③

東京都赤十字大会・午餐会
全国紺綬会長協議会

被災地応援旅行

日赤紺綬有功会役員会 (第3回)

1
~
3
月

新年会

④

赤十字ゆかりの地を巡るツアー
※p22-23 「cross town」でも取上げています

赤十字セミナー
(事業勉強会)

紺綬有功会に支えられて：

有功会からの支援は、陰となり日向となり、東京都支部が実施するさまざまな事業を物心両面から支えています。

最近の主な支援活動を左にあげてはいますが、毎年の社資協力はもちろん、それ以外にも表に出ていない支援が数多くあります。なによりも、有功会の方々は会員としての支援に加え、一個人（法人）

としての支援もそれぞれの関わり方で継続しているのです。

こうした熱い思いを持つ方々をはじめとした支援者に支えられているからこそ、日本赤十字社はいのちを守る活動に従事することができているのです。

日赤紺綬有功会からの主な支援

（最近 10 年）

平成 17 年

心肺蘇生および AED 訓練用入形寄付

平成 18 年

心肺蘇生および AED 訓練用入形寄付
赤十字 7 原則入りクリアファイル

平成 19 年

東京都支部創立 120 周年記念支援金
AED リトルアントレーニングシステム 20 体
青少年赤十字活動時スカーフ 3,000 枚
救護フェスタ奨励賞

平成 20 年

青年学生赤十字奉仕団活動用ジャンパー 260 着
青少年赤十字活動時スカーフ 10,000 枚
救護フェスタ奨励賞

平成 21 年

ジンバブエ救援資材、モンゴル救援衣料の送料支援
青少年赤十字活動時スカーフ 7,000 枚
救護フェスタ奨励賞

平成 22 年

東京都日赤紺綬有功会 50 周年記念社資特別募集
青少年赤十字活動用のスカーフ 1,000 枚
救護フェスタ奨励賞

平成 23 年

救急法等蘇生訓練用入形 10 体

平成 24 年

東京都支部創立 125 周年記念社資特別募集
減災・救護フェスタの参加者全員に小冊子贈呈 2 種、1,000 冊
東日本大震災被災地（東北）応援旅行

平成 25 年

減災・救護フェスタの参加者記念品贈呈
赤十字子供の家へ三輪車 10 台贈呈
献血ルーム feel に記念品贈呈
東日本大震災被災地（東北）応援旅行

平成 26 年

東日本大震災被災地（東北）応援旅行

その他、物心両面で多くのご協力をいただいています



同行訪問看護プロジェクト

武蔵野赤十字病院

- 所在地 〒180-8610 東京都武蔵野市境南町 1-26-1
■連絡先 Tel 0422-32-3111(代表) Fax 0422-32-3525
■休診日 土曜、日曜、祝祭日、5月1日(赤十字創立記念日)、年末年始
■病床数 611床 (一般528床・ICU8床・HCU22床・CCU6床・SCU9床・NICU6床・GCU12床・感染症20床)

● 専門・認定看護師のキャリアを活かした取組み

専門の看護師による同行訪問は、在宅医療を重点に置く国の対策に基づいて、平成24年より推進されている新しい取組みです。当院でも平成26年3月より在宅療養中の緩和ケアのニーズがある方、褥瘡(床ずれ)のある方を対象に、院内の専門の看護師が訪問看護師とご自宅へ伺う同行訪問を開始しました。

緩和ケアに関しては、がん看護専門看護師、がん化学療法認定看護師、乳がん看護認定看護師、緩和ケア認定看護師、褥瘡に関しては、皮膚・排泄ケア認定看護師がそれぞれ同行しています。

同行訪問の役割

最期は緩和ケア病棟への入院を考えているが、なるべく自宅で過ごしたい」というご希望により当院を退院し、在宅療養を始められる終末期の患者さんの同行訪問では、鎮痛剤を使った時の評価方法やリンパ浮腫への対応等について、訪問看護師と意見交換しながら今後の療養について検討していきます。終末期の看護では、症状緩和のために使われる薬の専門的知識や様々な医療処置が必要な場合が多々あります。特に苦痛の緩和についてはタイムリーに対応する必要があり、退院後早い時期での同行訪問が重要な役割を担っています。

今までは入院しか選択肢のなかった患者さんも環境が整備され、さまざまな支援を受けることが可能になったことで、ご自宅での療養を選ぶ方が増えており、院内の専門の看護師による同行訪問は、在宅療養・訪問看護を支える大きな力として期待されています。

実際に同行訪問を受けている患者さんやご家族からは、「自宅でも継続した看護が受けられて不安の軽減につながっている」という声をいただいております。同行する訪問看護師からも「患者さんの生活状況に合わせて専門的な知識・技術に基づいたアドバイスがもらえ、さらに看護の継続性が強化された」と評価されています。

ニーズに添えていくために

在宅療養の中で少しでも患者さんやご家族の苦痛を緩和し、生活の質を上げるためには、ニーズを的確に把握して地域との連携を図りながら、個人としても対応の幅を広げていくことが求められます。

当院看護部では、個人のキャリア開発を重視した教育を推進しており、キャリア開発ラダーや教育研修制度を活用して専門看護師・認定看護師の育成に力を入れています。



一日の活動を終えて スタッフミーティング

当院の専門・認定看護師の分野と人数

(平成27年3月1日現在)

認定看護師

31人

- | | |
|----------------|-----------|
| 感染管理 ③ | 緩和ケア ② |
| 救急看護 ② | 皮膚・排泄ケア ① |
| 集中ケア ④ | 糖尿病看護 ② |
| 小児救急看護 ① | 認知症看護 ② |
| 脳卒中リハビリテーション ② | 慢性心不全 ② |
| 摂食・嚥下障害看護 ② | 訪問看護 ② |
| 乳がん看護 ① | 慢性呼吸器疾患 ① |
| がん化学療法看護 ② | 不妊症看護 ① |
| がん放射線療法 ① | |

認定看護師管理

5人

- 認定看護管理者 ⑤

専門看護師

4人

- | |
|-------------|
| がん看護 ① |
| 急性・重症患者看護 ① |
| リエゾン精神看護 ① |
| 小児専門看護 ① |

看護部についての詳細は、
当院ホームページをご覧ください。

<http://www.musashino.jrc.or.jp/invite/member.html>



大森日赤の災害救護訓練

●「平時」である今だから災害と向き合える

大森赤十字病院

- 所在地 〒143-8527 東京都大田区中央 4-30-1
- 連絡先 Tel 03-3775-3111(代表) Fax 03-3776-0004
- 休診日 土曜、日曜、祝日、年末年始(急患は随時)
- 病床数 3 4 4 床(一般3 2 6床、ICU・CCU 6床、HCU 1 2床)

災害時に当院が担う役割

首 都直下地震(M7クラス)の発生確率は今後30年で70%とされています。当院は平成25年度に災害時医療の中核を担う「東京都災害拠点病院」の指定を受け、災害時には東京都などからの要請に基づき、傷病者の収容、治療を行います。

他機関との連携強化を目的とした合同災害訓練を実施

1 月31日(土)に当院において、大田区や医師会、町会、日赤看護大学などから250人余りが参加する大規模な災害救護訓練を実施しました。

今回の訓練では、発災直後に当院職員が設営・運営を行ったトリアージエリアと軽症者エリアを医師会や薬剤師会等で編成された救護班にスムーズに引き継ぎ、継続した診療を行う流れの検証や大田区災害対策本部からの後方搬送要請や学校救護所からの傷病者受入要請などに対応する連携訓練も本番さながらに行われました。

また、当院は病院休診日の少ない人員体制を想定して訓練に臨むことで、傷病者受入・入院患者の対応・他機関との連絡調整など、総合的な対応能力の現状把握に努めました。ここで確認できた課題を検証して、より強固な体制作りに活かしていきます。

※トリアージ：傷病者の緊急度や重症度によって治療の優先度を決めること。

「災害時に失敗は許されない」だから、今訓練を重ねる

当 訓練の統括責任者で当院の医療社会事業部長の松本医師は、大田区災害医療コーディネーターという立場から、大規模災害が発生した場合に、医療資源の配分や収容可能医療機関の確保など、医療救護活動の統括・調整を行います。日頃から地域の災害医療連携に対する助言や関係医療機関との連携体制の構築に努め、地域の災害時医療体制の中心となる存在です。

訓練後、松本医師は「いざという時に備え、災害拠点病院の職員として対応能力向上のために、定期的に訓練を行うことがとても重要だと考えています。訓練は何回でも失敗していいんです。しかし、実際の災害時は決して失敗は許されません。全力で助けなければなりません。当院のスタッフ、医師会、薬剤師会の方々など、関わる全ての人が力を合わせ、この地域を守っていくということを念頭において、更に訓練を積んで連携を強めていきます」と参加者一人ひとりに向けて熱い思いを伝えました。

今後もう一つ起こるか分からない災害に対し、災害拠点病院としての機能を最大限に発揮できるように、一層の災害対応能力を充実させ、他機関や地域の方々より深い関係作りに取組んでまいります。



実戦さながらの医療救護訓練



救いたいという思いが集結



すべての情報が集約され、各エリアの指揮をとる災害対策本部

正しく受ける予防接種

● 赤ちゃんを病気から守るために必要な知識

葛飾赤十字産院

- 所在地 〒124-0012 東京都葛飾区立石 5-11-12
■ 連絡先 Tel 03-3693-5211(代表) Fax 03-3694-8725
■ 休診日 日曜、祝日、年末年始
■ 病床数 113床(産婦人科68床、NICU・GCU等45床)

葛

葛飾赤十字産院の小児科外来患者には当院で生まれた赤ちゃんが多く、その8割が3歳以下です。そのため、乳幼児健診と予防接種が小児科外来の大きな柱になっています。中でもここ数年で予防接種の種類が増え、複雑になってきました。

生まれたばかりの赤ちゃんはお母さんからもらった抵抗力(免疫)で守られています。この抵抗力は生後2か月頃より減り始め、生後6か月頃にはなくなってしまう。このため、抵抗力が減って病気にかかる前に予防接種でしっかり守ってあげることが重要です。予防接種の対象月齢はその病気にかかりやすい時期を考慮し決められています。予防接種は、かかると重症になったり、さまざまな合併症があるような病気に対して作られたものなので、接種できる月齢になったらすぐに受けることが大切です。

「定期」と「任意」

予

予防接種には「定期接種」と「任意接種」があり、定期接種は自治体からの通知に基づき、望ましい接種期間(年齢)内に接種をすれば公費負担となり無料です。任意接種は希望者のみに接種するもので自己負担となります。当院がお薦めする0歳児の標準的なスケジュールをご紹介します。

当

当院では出産後のお母さんに退院時、予防接種のパンフレットをお渡ししていますが、1か月健診時にも改めてお話ししています。また、6か月、9か月の乳児健診では母子手帳の予防接種記録を確認して、これから先の予防接種スケジュールの相談にも対応しています。

日々変化する内容

最

近では平成26年10月から水痘ワクチンが定期予防接種となり、平成27年度にはB型肝炎ワクチンも定期予防接種になる予定です。また集団接種だったBCGの個別接種化も進み、当院でも今年の春からスタートを予定しています。現在の四種混合も、五種、六種混合が研究開発中と、日々新しい情報が出ています。赤ちゃんを病気から守るために積極的に情報収集に努め、当院を受診される皆さまへお伝えしていきたいと思っています。



当院がお薦めする0歳児の標準的なスケジュール

▼ 項目	月齢▶	2か月	3か月	4か月	5か月	6か月	7か月
インフルエンザ菌b型(ヒブ)		1回目	2回目	3回目			
肺炎球菌		1回目	2回目	3回目			
B型肝炎		1回目	2回目				3回目
ロタウイルス(経口)	※1価ワクチン	1回目	2回目				
	※5価ワクチン	1回目	2回目	3回目			
四種混合 (ジフテリア、百日咳、破傷風、不活化ポリオ)			1回目	2回目	3回目		
BCG						1回目	

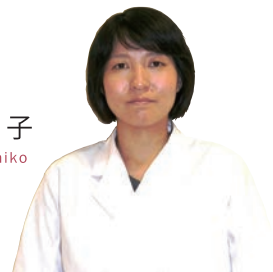
定期接種

任意接種

DOCTOR

梶野 幸子

Kajino Sachiko



葛飾赤十字産院 小児科医
東京女子医科大学病院勤務を経て現職
日本小児科学会専門医



強い
“は優しい”

大相撲献血

GRAND SUMO BLOOD DONATION



- 土俵の上で見せる気迫の表情とは打って変わって、優しさあふれる笑顔でご協力いただいた千代鳳関



- 献血を終えた力士の皆さんを高校生がおもてなし。体の大きさから思わず飲み物を勧めたくなってしまう。

- 報道陣に囲まれながら採血する千代鳳関。最初こそ緊張の面持ちだったものの、徐々に笑顔がこぼれ、和やかな雰囲気でご協力いただきました。



穏

やかに冬晴れした2月13日(金)、墨田区の両国国技館にて毎年恒例の大相撲献血が実施され、若い力士

を中心に多くの関係者が献血に協力してくださいました。

献血会場では愛国高等学校と関東第一高校の皆さんがボランティアとして活動し、力士と直に接した生徒さんは、「まず第一に(力士の皆さんの)迫力がすごい。また、こんな近くでお話しすることもないし、お手伝いのボランティアもとても楽しい」と感想を語ってくれました。

会場には幕内・千代鳳関も訪れ、取材陣に囲まれながら400mL 献血にご協力いただきました。記者の方から「緊張しますか?」と質問され、「緊張します」と答えた千代鳳関。「取組とどちらが(緊張しますか)?」という質問に対しては、「それは取組の方が…」と笑顔で回答されていました。

手に持った採血バッグを眺める千代鳳関に、血液センターの職員が「4日後には患者さんに届けられます」とお伝えすると、「神秘的だなあ」とコメントされていました。

献血に協力してくださった77人の皆さん、本当にありがとうございました。



次号予告

vol.6 2015年7月発行予定

c o n t e n t s

巻頭特集

平成26年度
東京都支部の活動資金 使途報告

ニュース

5月の赤十字運動月間に各地で行うPRの様子を報告

3月に実施した「減災アピール月間」のボランティアの活躍を報告



お知らせ

夏の親子向けイベントのお知らせ

応募・問合せはNT編集部まで

〒169-8540
新宿区大久保1-2-15
Tel: 03-5273-6747
Mail: nissekitokyo@tokyo.jrc.or.jp

前号のプレゼント当選者発表

A賞 (シャトルシェフ)	B賞 (nanoblock)	C賞 (LED ライト)
山田 菜菜さん (荒川区)	河井 正孝さん (横浜市) 川井真由美さん (大田区) 濱野 弘恵さん (世田谷区) 益子 竜一さん (江戸川区) 水木 陽子さん (豊島区)	天春 なお子さん (印旛郡) 岩金 滋代さん (文京区) 氏家 勢津子さん (中央区) 梅原 一人さん (市川市) 興水 弘臣さん (西多摩郡) 上市 志津子さん (中野区) 小駒 俊さん (目黒区) 高尾 聡子さん (八王子市) 武澤 美佐子さん (墨田区) 松永 克彦さん (練馬区)

(順不同)

今号のプレゼント

NT編集部では、NTに関するご意見・ご感想をお待ちしています。

①氏名 ②住所 ③性別 ④年齢 ⑤連絡先 ⑥本誌入手場所 ⑦本誌の感想 ⑧裏表紙のパズルの答え ⑨希望するプレゼント番号を明記し、NT編集部までご応募ください。正解者の中から抽選でプレゼントが当たります！

(プレゼントの詳細は裏表紙をご確認ください)

応募締切は平成27年5月31日。なお、当選者は次号誌面上で発表します。

表紙写真大募集！

NTの表紙をあなたが撮った都内の風景写真で飾ってみませんか？写真が

お好きな方、腕に覚えがある方、奮ってご応募ください。写真データは、

①氏名 ②住所 ③連絡先 ④撮影日 ⑤写真解説 (50字程度) を明記し、CD等に保存するか、電子データでNT編集部までお送りください。なお、送付写真の権利は当支部に帰属します。

NT
NISSEKI TOKYO

Vol.5 2015年4月発行

■発行・編集・デザイン / 日本赤十字社東京都支部

〒169-8540 新宿区大久保1-2-15 Tel: 03-5273-6747 (総務部企画課)

※本誌掲載の記事・写真・イラストなどの無断複写 (コピー)、複製 (転載) を禁じます。

※本誌に掲載されている情報は、発行に伴う情報収集時点での情報を含みますので、その後内容に変更が生じる場合もありますので予めご留意ください。

個人情報の取り扱いについて

いただいた個人情報はプレゼントの発送および弊支部からのご連絡のみに使用します。

その他、日本赤十字社東京都支部ホームページのプライバシーポリシーをご覧ください。

ホームページ: <http://www.tokyo.jrc.or.jp/>

Facebook: <https://www.facebook.com/redcrosstokyo>

NTは、年4回発行 (4月・7月・10月・1月)

活動資金協力者（社）・団体のご紹介

皆様のご協力により日本赤十字社の活動は支えられています。
活動資金のご協力、誠にありがとうございました。

※10万円以上のご寄付をいただき、掲載をご了解いただいた個人、法人および団体等を掲載しています。

活動資金協力に関するお問合せは
東京都支部 振興課 03-5273-6743 まで

●千代田区		●大田区		●足立区	
石黒 徹	10万円	小荷田 謙一	200万円	増山 元美	50万円
菅佐原 良司	10万円	根岸 壽太郎	100万円	鈴木 勇	25万円
(株)オムネズ	50万円	尾曾 利夫	10万円	柳川 幸一	20万円
(株)朝日写真ニュース社	30万円	太陽電業(株)	200万円	佐々木 継男	10万円
(株)トキワ	20万円	(有)九十オリエント	50万円	増山 一雄	10万円
東京都人材支援事業団		(株)サガデン	10万円	(有)四釜	200万円
指定業者連絡会		●世田谷区		(有)柳川運送	30万円
眼鏡・コンタクトレンズ部会	17万7,248円	井上 桂子	100万円	三和産業(株)	10万円
(有)むらかみ	10万円	佐橋 俊彦	100万円	●江戸川区	
●中央区		谷村 将光	100万円	(有)中代経営	50万円
諸岡 勇	10万円	西村 好胤	30万円	●八王子市	
諸岡 光江	10万円	原島 富美男	15万円	渋谷 六男	20万円
(株)ギャラリープレシャス	1,000万円	藤森 博昭	10万円	●武蔵野市	
●港区		松川 英文	10万円	武蔵野臨床会	44万7,799円
日本金属(株)	100万円	山崎 達彦	10万円	●三鷹市	
ヴィエムウェア(株)	14万9,502円	三栄製薬(株)	100万円	木村 得玄	100万円
(宗)慈眼禅寺	10万円	●渋谷区		●府中市	
●新宿区		矢島 基臣	500万円	草間 光一	10万円
下島 博雄	50万円	小川 昌美	50万円	●調布市	
内堀 尚夫	15万円	(株)お世話や	50万円	鴨下 尚子	50万円
(株)ランドスケイプ	44万6,620円	日本事務器(株)	50万円	魚返 美智代	30万円
(税)アルタ東京会計事務所	10万円	(株)パイドン	40万円	晃華学園 麦の会	10万円
●文京区		東京亀有ライオンズクラブ	30万円	(宗)深大寺	10万円
椎名 太郎	10万円	(株)アイワホーム	10万円	●町田市	
(株)ティー・シー・エス	12万円	●中野区		(有)玉川学園	22万円
●台東区		高下 誠治	10万円	●日野市	
東邦化成(株)	10万円	●杉並区		土方 フミ	10万円
都立上野高校生徒の会	33万7,529円	井口 清	120万円	●東村山市	
●墨田区		金澤 昭子	60万円	(株)一休	10万円
堀 啓二郎	500万円	高橋 君子	10万円	●西東京市	
岡部保全(有)	100万円	全国交通運輸産業労働共済生活協同組合	50万円	新井 正守	50万円
吉野金属(株)	10万円	●豊島区		新井 節子	50万円
すみだ琉球舞踊愛好会	20万3,500円	佐伯 弘子	20万円	簾藤 美與子	13万円
●江東区		国際空手道連盟 極真会館	20万円	古川 祐子	10万円
北島 松太郎	20万円	●北区		新井商事(株)	10万円
川島 秀正	10万円	市川 政雄	10万円	西東京ハーモニカ音楽協会	
(株)木場リサイクル	10万円	(有)山崎鉄工所	50万円	会長 簾藤 八朗	17万円
江東明るい社会づくりの会	10万円	●荒川区		●狛江市	
●品川区		柴本 佳子	10万円	加藤 朱実	10万円
金森 利幸	10万円	(株)ドリームワン	10万円	●武蔵村山市	
金森 與志江	10万円	●板橋区		(株)桃源堂	10万円
(株)ソシア	10万円	金内 棟盛	100万円	(有)ワタヤ	10万円
堀正工業(株)	10万円	長尾 トモ子	10万円	●西多摩郡	
●目黒区		宮川 美知子	10万円	久馬 美智恵	12万円
津村 重臣	100万円	若佐 和子	10万円	●埼玉県	
高井 亮治	10万8,000円	(株)曠渾開発	10万円	藤井 静江	10万円
末武 國弘	10万円	帝京中学校・高等学校	10万円	●神奈川県	
健康堂整骨院	10万円	●練馬区		松本 晴代	50万円
		若林 尚	20万円	松岡 喜美	10万円
		匿名	10万円	●兵庫県	
		●葛飾区		田尻 邦夫	10万円
		島 徹	10万円	(敬称略、順不同)	

赤十字は、 ジミチです。

「赤十字の活動は広すぎてわかりづらい。」
と言われることがあります。

赤十字の活動は、国や状況、理由、活動の種類を
限定しません。対象は全世界の苦しむ人々です。

確かに、エリアや対象となる人々を限定して緊急性
を訴えるほうが社会の目に届きやすく、理解され
やすいかもしれませんが。

しかし、赤十字は世界最大の人道機関。

その組織力があるからこそできることがあります。

緊急時の支援は当然のこと、すべての脅威から
人々を守るために全世界で活動しています。

もちろん、国内でも医療や献血、そして大災害に
対する取り組みなど、皆さまの身近なところで
活動しています。

命を守るために必要であれば、スポットライトが
当たることのないジミチな活動も大切にする。

これが赤十字のジミチです。

—— 皆さまからお寄せいただく活動資金は身近なところでも活用されています。 ——

例えば、

地域の防災力を向上するために以下のような活動を行っています。

¥ 5,000 で

青少年に対して
災害学習プログラムを開催。



体験用の教材や講師派遣にかかる
交通費等の費用。地域におけ
る防災・減災の担い手として期
待される青少年を対象に年間
100件を超える実績があります。

¥ 10,000 で

災害時に活動する
救護ボランティアを1人育成。



災害救護に関する知識、技術
を習得するための研修や現地
派遣を想定した訓練等にかか
る費用。地域防災におけるリ
ーダーとしての人材育成にも
つながっています。

¥ 100,000 で

自主防災組織への支援を通じて
地域の防災力を向上。



自治会等に対して傷病者対応の
ための資機材を贈呈し、それら
の使用方法やその他防災・減災
のノウハウを伝達するセミナー
を実施するなど、総合的な支援
を行います。

¥ 200,000 で

地区に大型の炊出し釜を
1台配備。



災害時にライフラインが停止し
た際に地域住民に対して炊出し
を行うための資機材を配備して
います。また赤十字の強みであ
る地域に根差した組織基盤によ
りマンパワーを確保します。

ジミチな活動が、必ず命を守ることにつながる。この思いを大切にしています。

1

日本赤十字社初代および第3代総裁を務めた小松宮彰仁親王（こまつのみや あきひと）の像があるのは上野恩賜公園。上野動物園入口の脇に建てられている。

2

日本赤十字社発祥の地

（千代田区富士見） 最寄駅：JR 飯田橋駅

西南の役で博愛社設立の許可を得た佐野常民らは、千代田区富士見にあった櫻井忠興邸に事務所を構え、組織作りに動いた。そして明治 19 年に現在の飯田橋駅のある場所に本社屋を建設。その後駅建設に伴い千代田区飯田橋（p22 写真）に移転。大正元年に芝大門へ移転するまではその地にあった。



飯田橋駅そばの通信病院内に「日本赤十字社発祥地」の看板が残っている。

3



昭和 52 年にライオンズクラブから寄贈された碑が日赤医療センター手前のバスロータリーに残る

4

有栖川宮記念公園

（港区南麻布） 最寄駅：日比谷線広尾駅

有栖川宮熾仁親王（あすがわのみや たるひと）は西南の役での征討総督であり、博愛社設立の趣意書を持った佐野常民の訴えを英断をもって許可された方。日本赤十字社第2代総裁を務めた他、初代元老院議長を務めるなど重責を歴任された。



公園内の親王像（中）と肖像（右）

都会の真ん中と思えぬほどに豊かな自然が残る

「献血発祥の地」の碑

（渋谷区広尾） 最寄駅：日比谷線広尾駅

昭和 27 年 4 月、日赤中央病院（現・日赤医療センター）内に「東京血液銀行」が設置された。当時は売買血全盛の時代だったが、その中にあって預血・返血にあわせて『無償供血（＝献血）』も受付けた施設だった。その後、日赤や学生達の努力により、設置から 22 年後の昭和 49 年には国内の輸血用血液の 100% が献血由来となった。



紺綬有功会も折に触れて巡る

都内日赤ゆかりの地



先人の意志に思いをはせて

日本赤十字社の前身である博愛社が設立されたのは明治 10 年。当時は、東京市内の道路にガス・ランプ街灯が設置され、苗字が義務付けられるなど近代化へ突き進んでいた頃だ。小松宮親王像がある上野公園が開園したのもこの頃。

博愛社設立の許可を得た佐野常民らが奔走した東京市内の面影はあまり残っていないが、彼らの足跡はそこかしこに残されている。

一人で巡ろうとすると腰が重くなってしまうかもしれない。ご家族やご友人と楽しみながら回ってみてほしい。



紺綬有功会が平成 27 年 2 月に開催したツアー。明治 27 年から大正元年まで本社屋があった地（千代田区飯田橋）には碑が建てられている。



脳がよろこぶ!
プレゼントが
あたる!

パズルで 5分間 脳トレ

クロスワードを解き、A～Eの文字を拾って解答欄を埋めてください。
A～Eのカタカナで言葉を完成させてください!

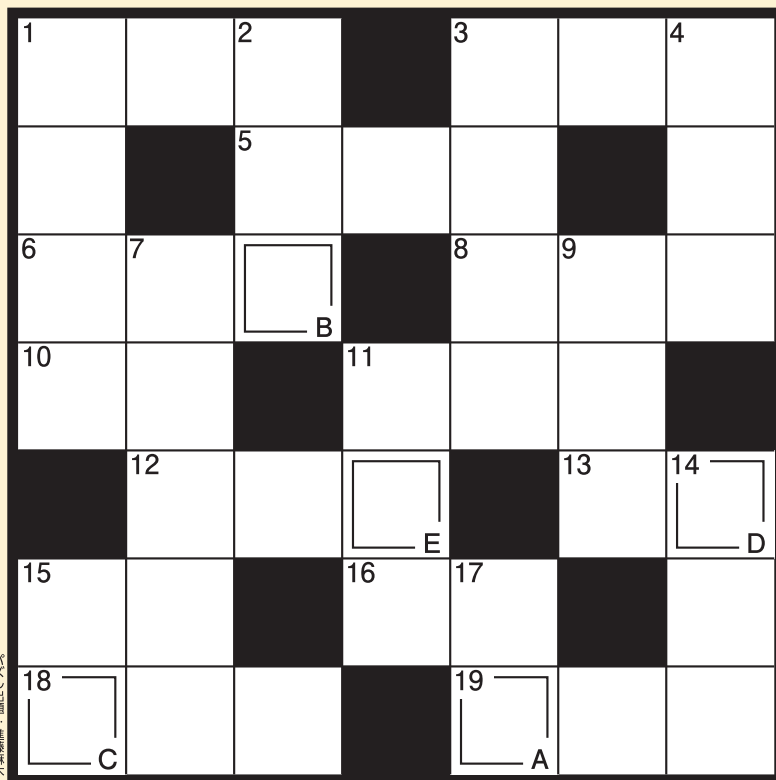
17 15 14 11 9 7 4 3 2 1
野菜 釣瓶やポンプで水をくむ施設 餃子やレバーの炒め物で活躍する
○メートル
水族館のプールで、華麗なジャンプを披露する海の動物
メートルの100分の1は、○
チョコレート
とろりと甘くておいしい、ホット
放題のレジャー
ストロベリーを自分でもいで食べ
お世話になった先生
です
べつすり眠り、十分に取りたいも
の
ググル回りながら昇り降り、○
○階段
フラビやゼンマイ、タラの芽など
など

タテのカギ

19 18 16 15 13 12 11 10 8 6 5 3 1
魚へんに春と書く魚
お化粧を落としたフェイス
食物○○○をたっぷり摂ると、お
通じがよくなります
芸能人に会ったら、書いてほしい!
お祭りでワッショイとかつぎます
フリーマーケット、のみの○○
セキセイやオカメなど、かわいい
小鳥
双六でいう「あがり」
スポーツをして、さわやかな○○
をかく
栗やウニがまとうトゲトゲ
海で横歩きする生き物
グラタンの下にはライスが
お昼ごはん。何食べようかしら?

ヒトのカギ

クロスワード



パズル出題・進藤麻木

解答

A	B	C	D	E

プレゼント A

ウェットティシューメーカー ウィズモア

1名

- 乾いたティシューをウェットに!
- 操作は簡単!かざすだけ! お好みのウェット具合に調整できます!
- コードレス(電池式)だからリビングやキッチンなど場所を選ばずお使いいただけます。



提供:シー・シー・ビー

プレゼント B

美脚ソックス

- 全国の150名以上の女性医師が所属する団体、「En女医会」の各科の医師の意見を取り入れた美脚ソックス
- ただ締めるだけじゃない!筋肉のラインに沿った解剖学的設計×YYパワーサポート

提供:砂山靴下



プレゼント C

赤十字オリジナル LEDライト

10名



5名

応募の方法は
P19を
ご覧ください!



応募締切

5月31日 (当日消印有効)

前号の
解答 A 羊 B ト C ウ D ク E 肉

パズルに関するお問い合わせは➡パズルのことならなんでもおまかせ! 株式会社フォーティアワーズ info@40hours.co.jp